

平成20年度の主な行事

《 酪農フォーラム 》

今後の根釧酪農の展開方向を探るため、生産技術、農業情勢及び経済政策など各界から招いた講師を中心に、地域の関係者と意見交換する場として不定期に開催しています。本年度は2回開催し、約170名の参加者があり、試験研究や技術開発に反映さるべく貴重な意見等を頂きました。



厚いエールを送る小沢支店長

第20回(平成20年11月6日)

「世界経済の動きと道東の経済情勢」－酪農を中心とする地域経済活性化に向けた課題－

日本銀行釧路支店の小澤浩太郎支店長に、道東の食品製造業は比較的堅調であり、「酪農、悲観しないで」とのエールを頂きました。

第21回(平成21年2月22日)

「食料危機の教訓と今後の日本酪農の対応方向」

東京大学大学院の鈴木宣弘教授に、食料生産の大切さや国際化を睨んだ酪農・畜産の方向についてお話しを受け、「消費者と一体となりアピールすることが重要」との指摘を頂きました。



熱心に講演に聞き入る出席者

《 試験場公開デー 》

第5回目を迎えた今年は、329名の町内外の方々にご来場頂きました。パネル展示とクイズラリー、バスを使った牛舎見学や体験コーナーをとおして、酪農と試験場の仕事を幅広く紹介しました。また、関係の方々の協力を受けた農畜産物の即売コーナーは、たいへん好評でした！



右上：哺乳体験コーナー

(仔牛に間近に迫れるこの体験。以外と力が強いことに驚く人も！)

右：新企画1日獣医さん

(牛のことをもっと知れるこの企画。牛って暖かいんです。)

左：クッキー作り体験

(昨年に引き続き登場のクッキー作り体験は、子供さんを中心に盛況でした！)



《 酪農講座 》

平成 20 年 6 月 9-10 日、実地研修の酪農講座として、標茶町虹別と南標茶の酪農家の放牧草地で、根釧農試所有の簡易更新機（シードマチック）による放牧用イネ科牧草メドウフェスクの追播作業を公開しました。支庁、役場、普及センター、酪農家など両日合わせて 20 名前後が参加し、当场職員の操作による簡易更新作業を見学しました。

また、8 月 4 日には、別海町北矢白別会館で、地球温暖化を中心とする環境問題に関する酪農講座を開催しました。当场研究員 5 名の話題提供の後、地区の酪農家約 10 名による意見交換が行われました。



説明を聞き入る参加者



簡易更新作業の実演

根釧農試酪農研究通信第 18 号 （2008 年 3 月発行）

発行／北海道立根釧農業試験場

〒086-1135 北海道標津郡中標津町旭ヶ丘 7 番地

TEL 0153(72)2004 ・ FAX 0153(73)5329